

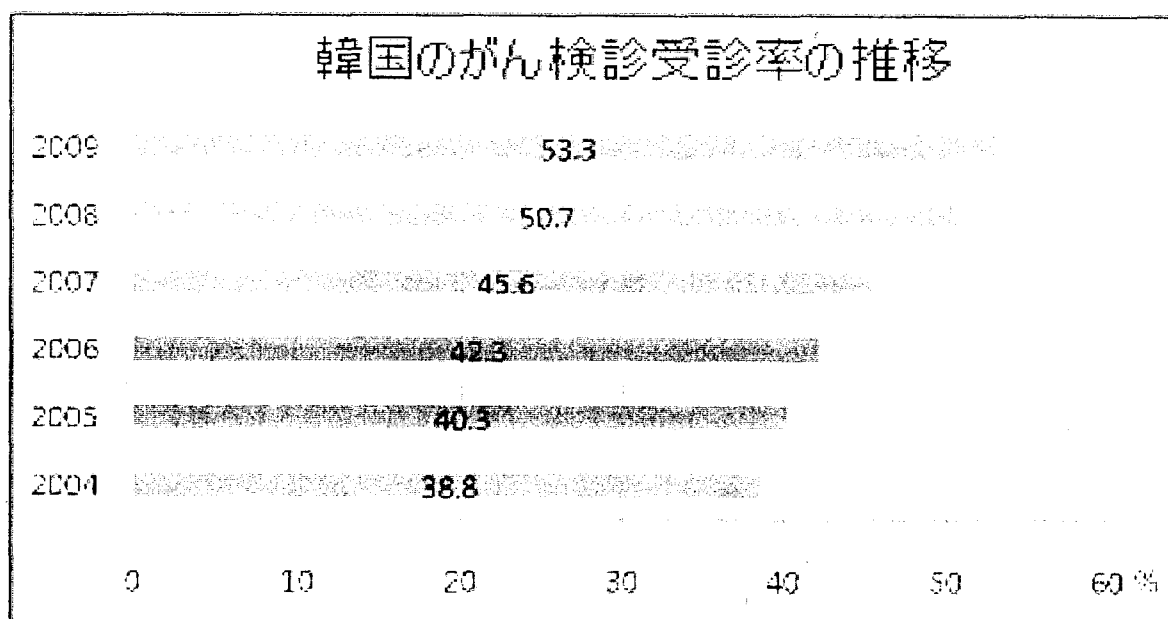
韓国が、がん検診受診率 53.3% を達成した理由 — 訪問視察報告 —

東大病院 中川恵一

訪問視察: 平成22年2月10日(水)～11日(木)

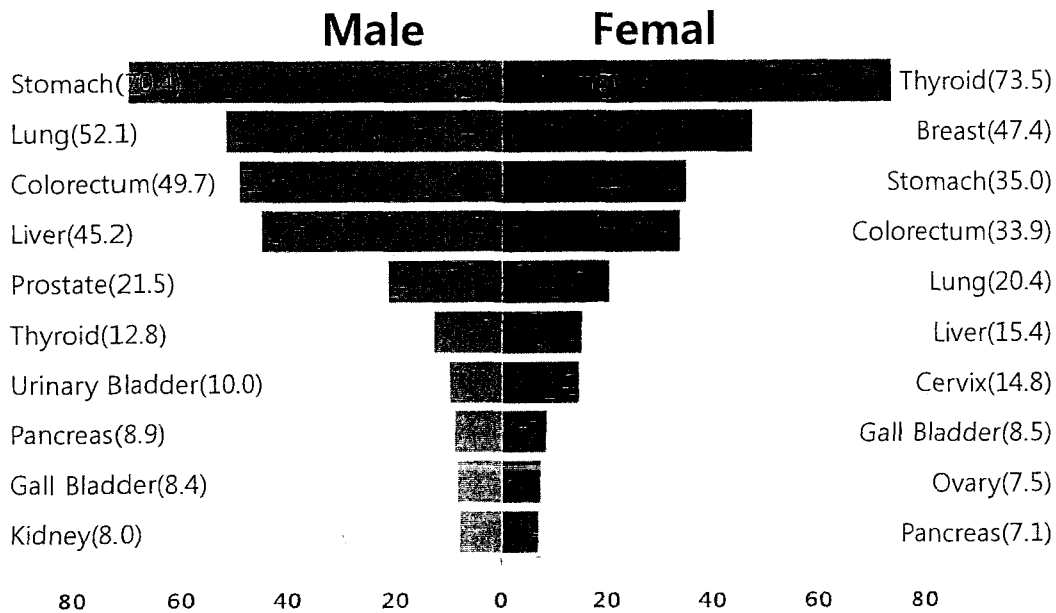
出張者

中川 恵一 がん対策推進協議会委員、東京大学医学部附属病院放射線科准教授
 祖父江 友孝 国立がんセンターがん対策情報センターがん情報・統計部長
 若尾 文彦 国立がんセンターがん対策情報センター長補佐
 鈴木 健彦 厚生労働省健康局総務課がん対策推進室長
 末政 桂一郎 同がん対策推進室がん対策調整係長



Major Cancer Site, 2007

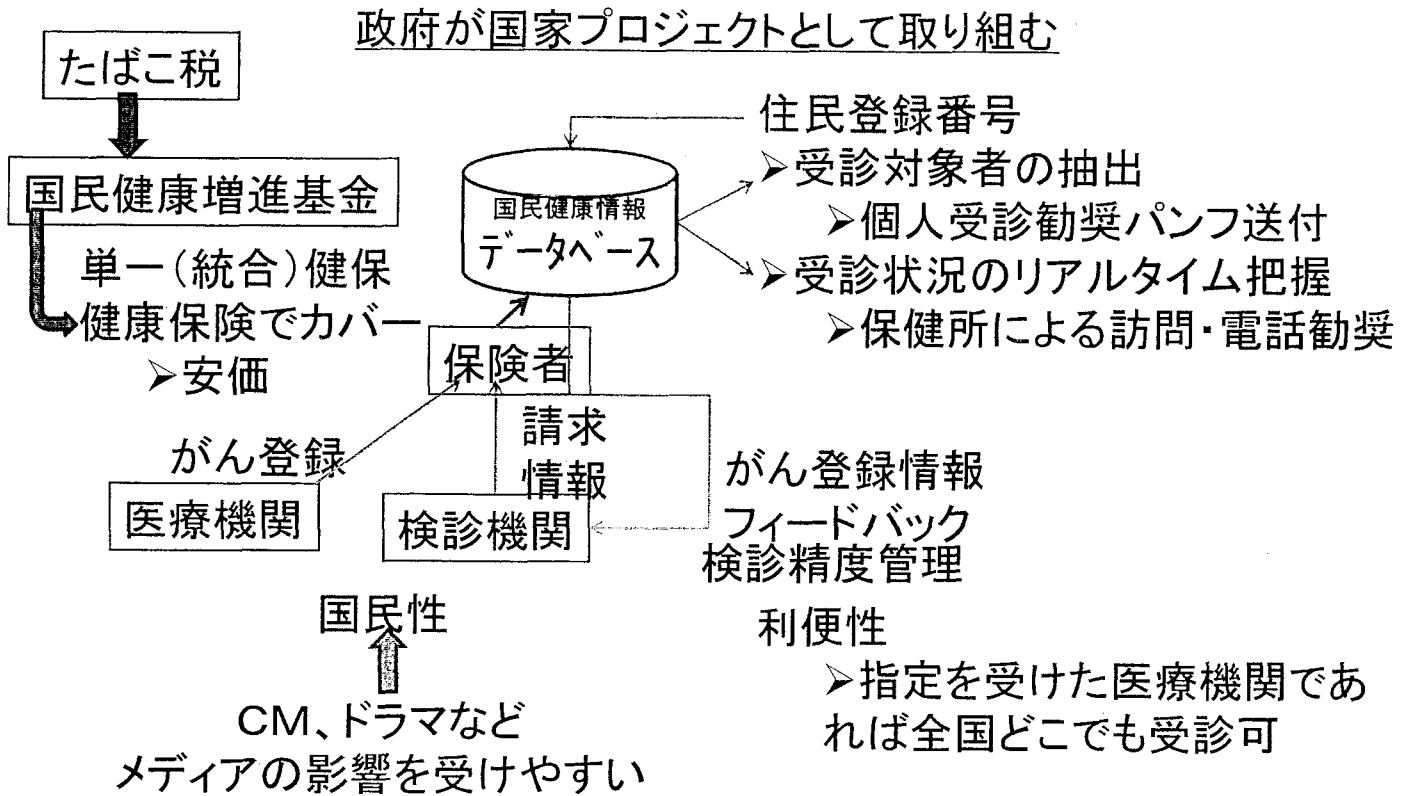
Unit: cases/100,000



韓国で、がん検診受診率が急増している背景

- ✓ 単一(統合)健保、住民登録番号を利用したIT戦略
- ✓ 健康保険でカバーされ、フリーアクセス
- ✓ 個人受診勧奨(パンフ)と訪問・電話勧奨(保健所)
- ✓ がん登録データの存在
- ✓ CM, ドラマなどのメディア
- ✓ 国民性

韓国で、がん検診受診率が急増している背景



検診の費用体系

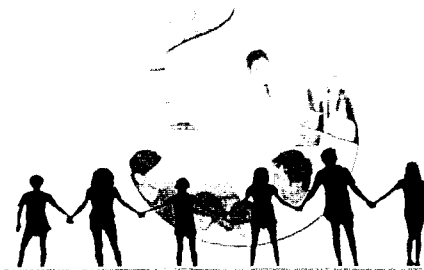
健康保険料 上位 50%※	健康保険財政 90% 本人負担額 10%	健康保険 財政 100%	本人負担額 100%			
健康保険料 下位 50%※	健康保険財政 90% 国民健康増進基金 5% 地方費 5%					
医療給付 ¹⁾	国民健康増進基金 50%、地方費 50%					
検診項目	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	胃がん、肝がん、大腸がん、 乳がん、子宮頸がんなど
種類	公共検診					民間検診

□ 国民健康保険会社 特定がん検診

□ 国の早期がん検診事業

※ 上・下位50%区分の基準: 地域加入者 月 保険料 72,000won、
職場加入者 月 保険料 60,000won

1) 医療給付とは、低所得者層であって国の保険システムに参加する必要のない者のための制度。
毎月の支払いは求められていない。



待ってられません。

「生懸命に働いて日々流しながら築いていく幸せな未来！」
 これからは健康にも小さな努力が必要な時です。

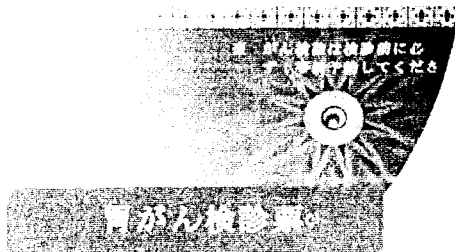
2009
 がん検診のご案内



保健福祉家庭部



国民健康保険公団
 National Health Insurance Corporation

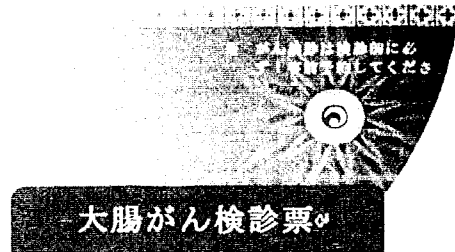


有効期限 2009年12月31日

本がん検診票と身分証を検診機関に持参すれば、胃がん検診を受診できます。



国民健康保険公団 理事長



有効期限 2009年12月31日

本がん検診票と身分証を検診機関に持参すれば、大腸がん検診を受診できます。



国民健康保険公団 理事長



個人受診勧奨奨パンフレット



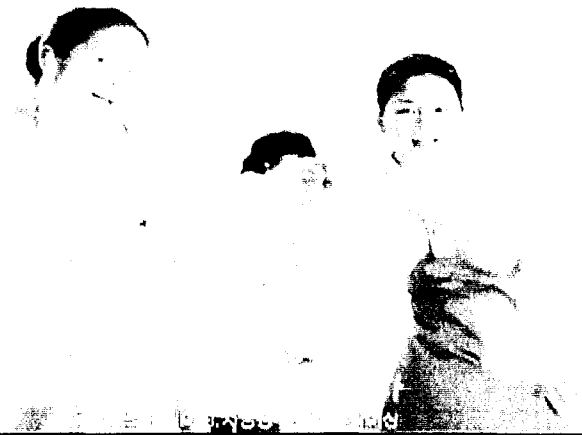
受けよう受けよう がん検診

がん検診は、がんを早期発見し、早期治療を受けることで、がんを治すチャンスがぐんと増えます。

90%



90%以上完治します



女は2年ごとに

乳がんは40歳以上 子宮頸がんは30歳以上

韓国政府による、がん検診啓発CM



がん大国日本



国民の

2人に1人が“がん”になり、

3人に1人が“がん”で亡くなっています。

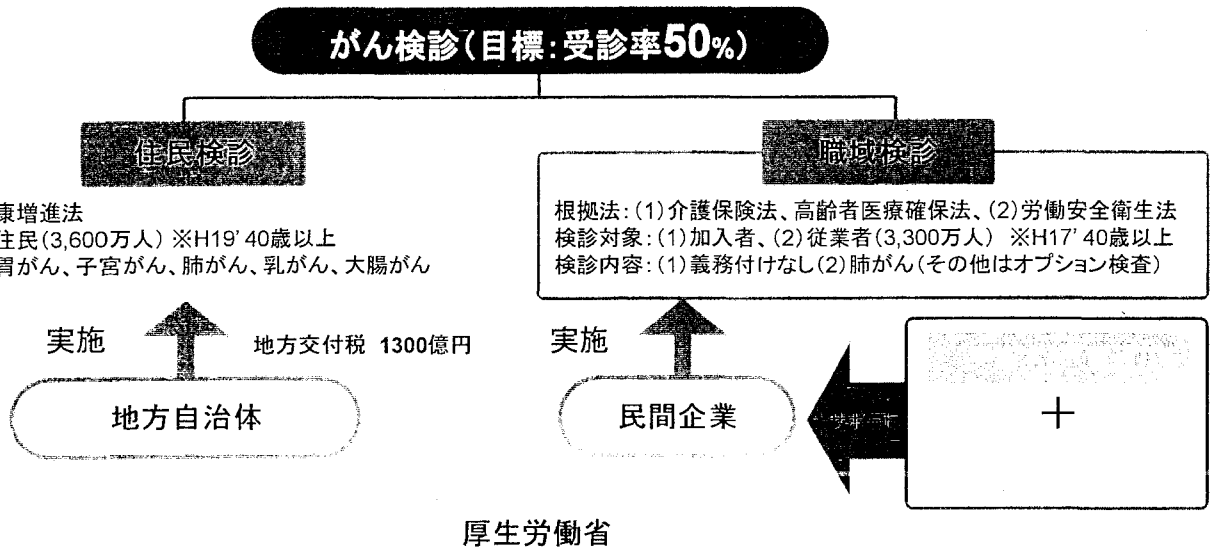
がん検診企業アクションは、

企業の大切な「人材」をがんによって失うリスクを軽減するために

従業員と家族の「がん検診受診」を推進していく国家プロジェクトです。



職域におけるがん検診受診率向上を企業連携で推進していくことで、“がん”と前向きに取り組む社会気運を醸成。企業が率先して「がん検診受診」の大切さを呼びかけることにより、受診率50%以上をめざします。



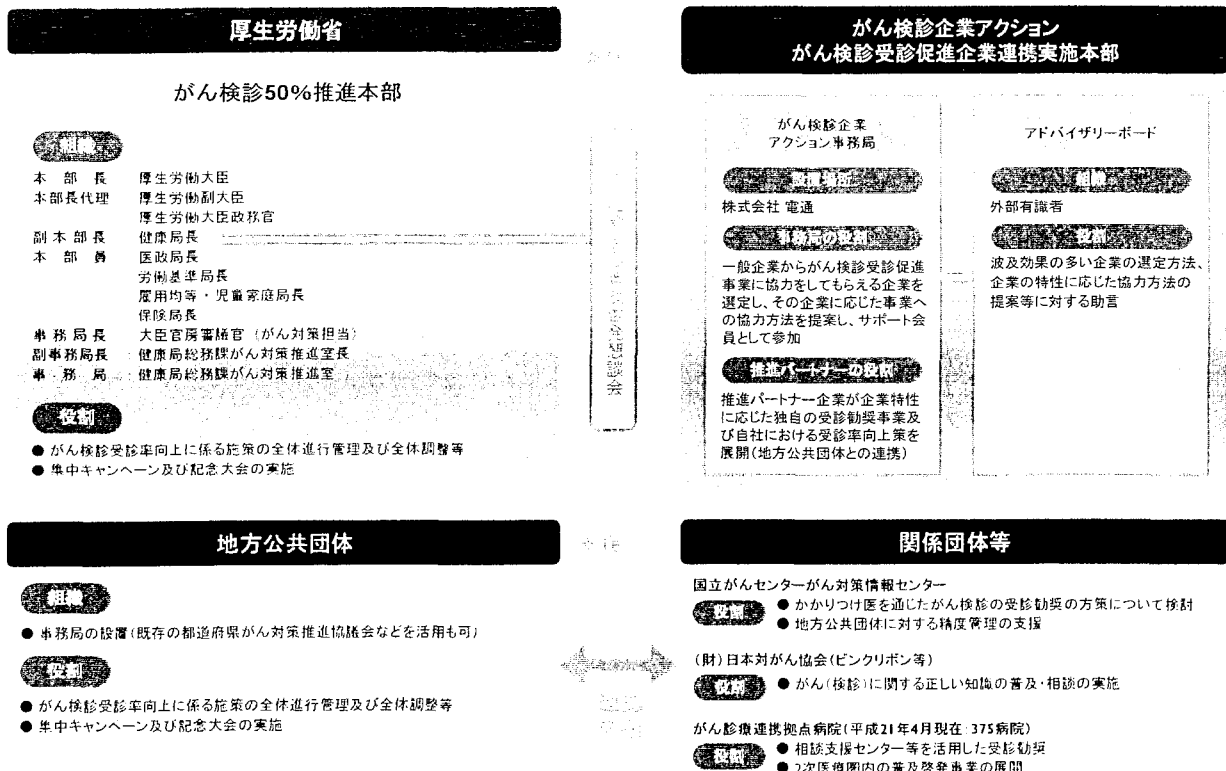
【市町村検診向け経費】

- ・女性特有のがん検診推進事業費補助金
- ・がん検診受診促進企業連携委託費

【職域検診向け経費】・がん検診受診率向上企業連携推進事業

- 【がん検診精度管理】・マンモグラフィ検診従事者研修 等

がん検診50%推進に向けた組織体制



平成22年3月24日現在 50音順／順不同

- 株式会社ACCESS
- 株式会社朝日新聞社
- 株式会社アコーディア・ゴルフ
- アストラゼネカ株式会社
- アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
- 株式会社イーウェル
- 株式会社イトーヨーカ堂
- 栄研化学株式会社
- エイボン・プロダクツ株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
- 大塚製薬株式会社
- オリックスグループ健康保険組合
- オリンパスメディカルシステムズ株式会社
- 株式会社カイゲン
- カルビー株式会社
- 株式会社京都銀行
- 公明党
- 株式会社サニーサイドアップ
- 株式会社サンケイリビング新聞社
- 株式会社三笑堂
- JALリゾート シーホークホテル福岡
- ジョンソン・エンド・ジョンソングループ健康保険組合
- 株式会社スポーツニッポン新聞社
- セコム損害保険株式会社
- 株式会社千趣会
- 総合警備保障株式会社
- 第一生命保険相互会社
- 株式会社大和証券グループ本社
- 大鵬薬品工業株式会社
- 中外製薬株式会社
- テルモ株式会社
- 株式会社テレビ朝日
- 株式会社電通
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

推進パートナー企業・団体

- 東京海上日動火災保険株式会社
- 株式会社東京スポーツ新聞社
- 東京都報道事業健康保険組合
- 東京放送ホールディングス株式会社
- トステム健康保険組合
- 株式会社栃木サッカークラブ
- 日本新薬健康保険組合
- 日本テレビ放送網株式会社
- 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
- 社団法人日本放射線技師会
- ノバルティスファーマ株式会社
- 株式会社ハイメディック
- 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
- ファイザー株式会社
- フコクしんらい生命保険株式会社
- 株式会社フジテレビジョン
- 富士フイルム株式会社
- 富士フイルムメディカル株式会社
- ブリストル・マイヤーズ株式会社
- 株式会社毎日新聞社
- 株式会社メディネット
- 株式会社読売新聞東京本社
- リコーリース株式会社
- リゾートトラスト株式会社
- 株式会社リビングくらしHOW研究所
- 株式会社リビングプロシード
- 株式会社ローソン
- 株式会社ワコールホールディングス

推進パートナー企業・団体登録数：62団体 総従業員数：約36万人

マスコミ関係者を招いたメディアセミナー

日時： 2009年12月9日(水)
場所： 東京會館
参加人数： 36社 52名

全国地方新聞社東京支社長との意見交換会

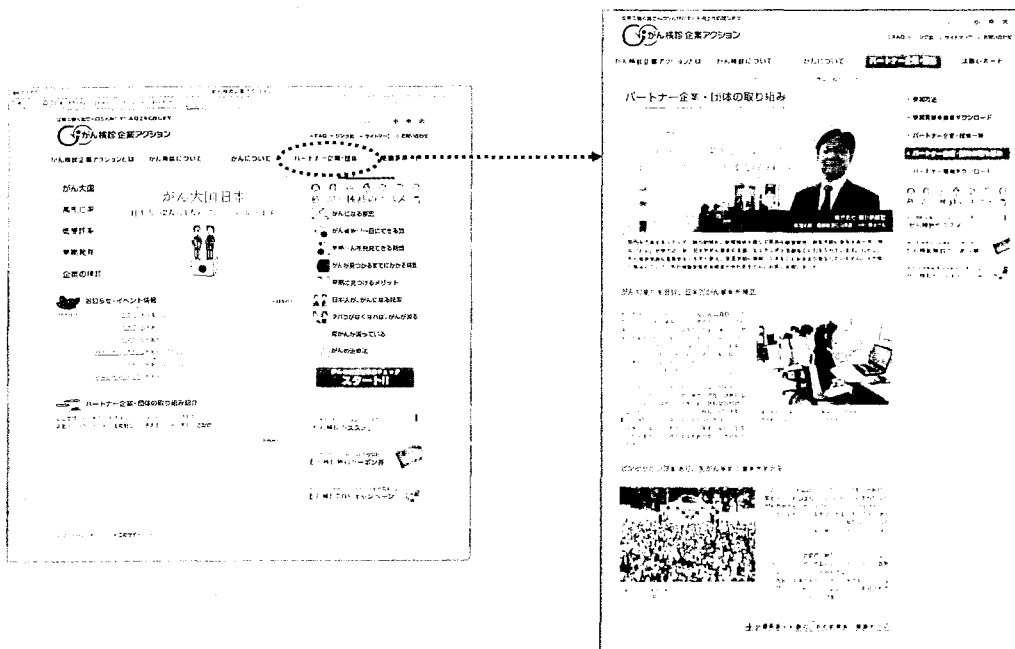
地方新聞社東京支社長の方々に本事業の説明・意見交換を実施
日時： 2010年1月19日(火)
場所： 共同通信社
参加人数： 42名

推進パートナー取り組み事例の紹介

【オフィシャルサイト】 <http://gankenshin50.go.jp>

株式会社朝日新聞社 様

がん検診企業アクションオフィシャルサイト内『パートナー企業・団体の取り組み』にて社内の取り組みの様子を紹介

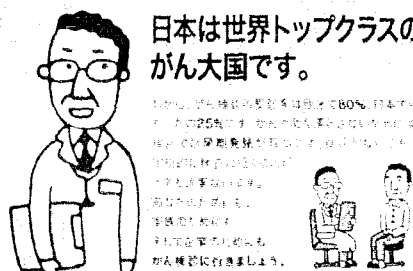


【ポスター】B3サイズ

日本人の2人に1人が、「がん」になる。!!

日本人の3人に1人が、「がん」で亡くなる。!!

日本は世界トップクラスのがん大国です。



がん検診は、がんの早期発見を目的として80%以上のがんを早期発見し、がんの死亡率を25%減らすことができます。がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。

がん検診企業アクション

URL: <http://www.gan-ken-jin.com>

【チラシ】A4サイズ

がん検診 ススメ

がん検診を受けるべき理由

がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。

がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。

受けなきヤソン！がん検診

がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。

がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。

【がん検診のススメ】

企業規模に応じて一定部数無料配布(文庫サイズ/56 page)

受けなきヤソン、がん検診
読まなきヤソン、この冊子

がん検診のススメ

2人に1人ががんになる

がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。

受けなきヤソン、がん検診

がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。

がん検診を受けることで、がんの早期発見が可能になります。早期発見すれば、治療が容易で、生存率も高くなります。

発行: がん検診企業アクション事務局
 監修: 中川恵一
 東京大学医学部附属病院放射線科准教授/
 厚生労働省「がんに関する普及啓発懇談会」座長
 制作: 株式会社朝日出版社

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) 様
2009年11月11日(水) 毎日新聞

日本人のがん検診受診率は約25%です。欧米に比べて、その受診率の低さが日本をがん大国にしています。

80%の欧米に比べて、その受診率の低さが日本をがん大国にしています。

あなたも、今すぐ、がん検診を。

アフラックは、厚生労働省が推進するがん検診普及率50%をめざすプロジェクトを応援しています。大切なのは、早期発見と適切な治療。がん検診はがん予防の大切な第一歩です。

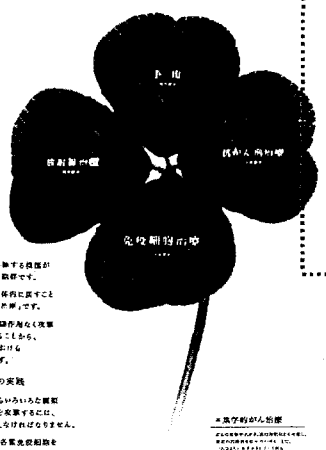
Affac
アフラック

がん検診
企業アクション
がん検診に行きましょう!

がん治療

株式会社メディネット 様
2010年1月10日(日) 朝日新聞

再発、転移を防ぐために。
進行がんには負けないために。



再発、転移を防ぐために。進行がんには負けないために。

▼再発・転移を防ぐ新たな選択肢「免疫抑制治療」

がんが再発し、がん細胞などの身体に対して免疫を抑制する機能が働いて再び、その中心を占めるのが「免疫抑制治療」の働きです。

この免疫抑制剤は、免疫でがん細胞を攻撃し、増殖、転移を止め、再び発症を防ぐことになり、がん細胞の増殖を抑えたり、がん細胞の増殖を抑えたりします。

再発・転移を防ぐために、免疫抑制剤の働きを最大限に引き出すことが大切です。がん細胞は増殖し、転移を防ぐために、免疫抑制剤の働きを最大限に引き出すことが大切です。再発・転移を防ぐために、免疫抑制剤の働きを最大限に引き出すことが大切です。

患者さんごとに異なるがん診断—オーダーメイド医療の実現

MEDI-NETは、オーダーメイド医療、遺伝子検査(DNA)など、がん検診結果を基にした多様な治療法、がん細胞の特性を踏まえた治療法なども提供し、患者さんごとに、一人ひとりの患者さんに最適な治療法を提供しています。

また、がん細胞の特性を踏まえて治療し、新たな治療法を開発、患者さんごとの治療法を決定する際に、国内外の大学病院での臨床試験も活用して、最新の治療法を取り組んでいます。

再発、転移を防ぐために、進行がんには負けないために。大切なのは、早期発見と適切な治療。がん検診はがん予防の大切な第一歩です。

がん検診
企業アクション
がん検診に行きましょう!

Emerging Biomedical Technology
MEDI-NET

www.medinet-inc.co.jp/san-t

0120-360-285

〒100-0001 東京都千代田区千代田2-1-1

TEL: 03-6261-2000 FAX: 03-6261-2001

東京都千代田区千代田2-1-1 株式会社メディネット

代表取締役社長 橋本 洋一

代表取締役副社長 橋本 洋二

代表取締役専任 橋本 洋三

代表取締役専任 橋本 洋四

代表取締役専任 橋本 洋五

代表取締役専任 橋本 洋六

代表取締役専任 橋本 洋七

代表取締役専任 橋本 洋八

代表取締役専任 橋本 洋九

代表取締役専任 橋本 洋十

代表取締役専任 橋本 洋十一

代表取締役専任 橋本 洋十二

代表取締役専任 橋本 洋十三

代表取締役専任 橋本 洋十四

代表取締役専任 橋本 洋十五

代表取締役専任 橋本 洋十六

代表取締役専任 橋本 洋十七

代表取締役専任 橋本 洋十八

代表取締役専任 橋本 洋十九

代表取締役専任 橋本 洋二十

代表取締役専任 橋本 洋二十一

代表取締役専任 橋本 洋二十二

代表取締役専任 橋本 洋二十三

代表取締役専任 橋本 洋二十四

代表取締役専任 橋本 洋二十五

代表取締役専任 橋本 洋二十六

代表取締役専任 橋本 洋二十七

代表取締役専任 橋本 洋二十八

代表取締役専任 橋本 洋二十九

代表取締役専任 橋本 洋三十

代表取締役専任 橋本 洋三十一

代表取締役専任 橋本 洋三十二

代表取締役専任 橋本 洋三十三

代表取締役専任 橋本 洋三十四

代表取締役専任 橋本 洋三十五

代表取締役専任 橋本 洋三十六

代表取締役専任 橋本 洋三十七

代表取締役専任 橋本 洋三十八

代表取締役専任 橋本 洋三十九

代表取締役専任 橋本 洋四十

代表取締役専任 橋本 洋四十一

代表取締役専任 橋本 洋四十二

代表取締役専任 橋本 洋四十三

代表取締役専任 橋本 洋四十四

代表取締役専任 橋本 洋四十五

代表取締役専任 橋本 洋四十六

代表取締役専任 橋本 洋四十七

代表取締役専任 橋本 洋四十八

代表取締役専任 橋本 洋四十九

代表取締役専任 橋本 洋五十

代表取締役専任 橋本 洋五十一

代表取締役専任 橋本 洋五十二

代表取締役専任 橋本 洋五十三

代表取締役専任 橋本 洋五十四

代表取締役専任 橋本 洋五十五

代表取締役専任 橋本 洋五十六

代表取締役専任 橋本 洋五十七

代表取締役専任 橋本 洋五十八

代表取締役専任 橋本 洋五十九

代表取締役専任 橋本 洋六十

代表取締役専任 橋本 洋六十一

代表取締役専任 橋本 洋六十二

代表取締役専任 橋本 洋六十三

代表取締役専任 橋本 洋六十四

代表取締役専任 橋本 洋六十五

代表取締役専任 橋本 洋六十六

代表取締役専任 橋本 洋六十七

代表取締役専任 橋本 洋六十八

代表取締役専任 橋本 洋六十九

代表取締役専任 橋本 洋七十

代表取締役専任 橋本 洋七十一

代表取締役専任 橋本 洋七十二

代表取締役専任 橋本 洋七十三

代表取締役専任 橋本 洋七十四

代表取締役専任 橋本 洋七十五

代表取締役専任 橋本 洋七十六

代表取締役専任 橋本 洋七十七

代表取締役専任 橋本 洋七十八

代表取締役専任 橋本 洋七十九

代表取締役専任 橋本 洋八十

代表取締役専任 橋本 洋八十一

代表取締役専任 橋本 洋八十二

代表取締役専任 橋本 洋八十三

代表取締役専任 橋本 洋八十四

代表取締役専任 橋本 洋八十五

代表取締役専任 橋本 洋八十六

代表取締役専任 橋本 洋八十七

代表取締役専任 橋本 洋八十八

代表取締役専任 橋本 洋八十九

代表取締役専任 橋本 洋九十

代表取締役専任 橋本 洋九十一

代表取締役専任 橋本 洋九十二

代表取締役専任 橋本 洋九十三

代表取締役専任 橋本 洋九十四

代表取締役専任 橋本 洋九十五

代表取締役専任 橋本 洋九十六

代表取締役専任 橋本 洋九十七

代表取締役専任 橋本 洋九十八

代表取締役専任 橋本 洋九十九

代表取締役専任 橋本 洋一百

第一生命保険相互会社様

受けなきゃソンソン、がん検診、読まんきゃソンソン、この冊子

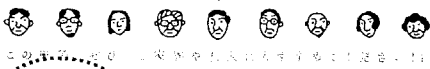
がん検診のススメ

2人に1人ががんになる

生涯のパートナー 第一生命

2011年度までに、国民のがん検診受診率を50%に引き上げるため(現在約25%)、国家プロジェクトとして「がん検診企業アクション」(厚生労働省の委託事業)が発足しました。地域住民の検診率アップと並んで、企業にもがん検診率の向上に取り組んでいただきたいと考えたからです。「がんを知」がんと向き合いがんに行けない社会をめざして、この冊子が、すべての国民の皆さまの手に届くことを願っています。

小冊子に自社のロゴを入れて配布



09年12月版
(監)C21H1247(H21.12.4) 生涯 日本物流商品番号:73017 09年12月作成

推進パートナー企業の自主的な啓発活動(チラシ)

生涯設計ジャーナル 生涯設計

あなたと家族を「がん」から守る

～「がん」の予防・発見から治療まで～

(財)日本対がん協会会長/国立がんセンター名誉総長 垣添忠生

Point 1 がん予防のために

がんの予防のために

- ① たばこを吸わない
- ② アルコールは控えめに
- ③ 運動をして肥満を防ぐ
- ④ 塩分を打って、野菜・果物を取る

がんのリスク... たばこ(喫煙)が30%、食事が35%、ウイルス・細菌などの感染症が10%、つわり、75%は、メタボリックシンドロームによるものです!

Point 2 早期発見は重要、だから検診を受けましょう!

がんは体内で気づかないうちに発生していく病気です。早いうちには全く無症状です。この時期に検診でがんを見つけられることができれば、早期に治療でき、社会復帰も早くなります。そのために、がん検診は最も重要な方法です。

検診の方法 国の検診にもとづくがん検診

胃がん検診(二重造影法)	結腸直腸がん検診
子宮頸がん検診	肺がん検診(喫煙者のみ)の検診
乳腺検診(乳房X線撮影検査)	マンモグラフィと胸部X線の併用

※厚生労働省/「がん検診の検診率向上及びがん検診の実施の奨励」の一環として(平成16年4月)

近年 話題となっているPET検査

PET検査は、PET検査機を用いて、がんの増殖を捉える検査です。通常の検診にPET検査を組み合わせることで、検診の精度が向上します。

PET検査とは、正常細胞は多くブドウ糖を消費しているが、がん細胞はブドウ糖を多く消費しているため、ブドウ糖の代謝産物であるFDG(フルオロデオキシグルコース)ががん細胞に多く集積し、PET検査機で検出されることで、がんの増殖を捉える検査です。

Point 3 がん治療も進歩しています! ～たとえば放射線治療の場合～

放射線治療は、がんの標準治療方法の一つです。この放射線治療についても、がんの部位に放射線を当てる技術と照射の効果を高めるような方法や機器が発達してきており、「電子線治療」「重粒子線治療」といって、従来の放射線治療の効果をさらに高めた治療法もあります。

第一生命保険相互会社様 生涯設計ジャーナル

垣添先生のがん体験談とメッセージ

垣添 忠生先生
プロフィール
1960年東京都府中市生まれ。早稲田大学卒業。東京大学大学院博士課程修了。1987年国立がんセンター(現がん研)に入社。1993年第一生命に入社。1995年第一生命がん検診推進部長。2007年第一生命がん検診推進部長。2011年第一生命がん検診推進部長。2012年第一生命がん検診推進部長。2013年第一生命がん検診推進部長。2014年第一生命がん検診推進部長。2015年第一生命がん検診推進部長。2016年第一生命がん検診推進部長。2017年第一生命がん検診推進部長。2018年第一生命がん検診推進部長。2019年第一生命がん検診推進部長。2020年第一生命がん検診推進部長。2021年第一生命がん検診推進部長。2022年第一生命がん検診推進部長。2023年第一生命がん検診推進部長。2024年第一生命がん検診推進部長。2025年第一生命がん検診推進部長。

検診のすすめ

「がん検診のすすめ」
国立がんセンターには、「がん検診推進センター」として、がん検診の推進に取り組んでいます。私自身もこのセンターでがん検診を受けてきました。その結果、がんが見つかりました。早期発見のおかげで、治療も早く済ませることができました。がんが見つかったら、早期発見が大切です。がんが見つかったら、早期発見が大切です。がんが見つかったら、早期発見が大切です。

どでした。癌はわずか1cmで、手術で切除の可能性があるという。早期発見が大切です。がんが見つかったら、早期発見が大切です。がんが見つかったら、早期発見が大切です。

生きて社会に復帰できるという。検診ががんの早期発見に役立ちます。がんが見つかったら、早期発見が大切です。がんが見つかったら、早期発見が大切です。

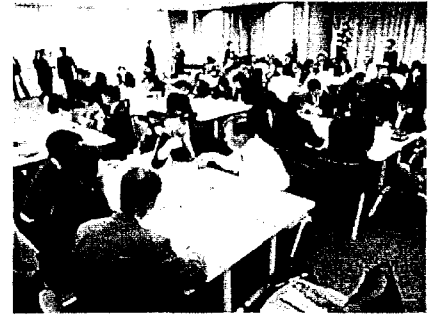
あなたと家族をがんから守る

第一生命では、垣添先生のDVDによるセミナーを開催しております。また、第一生命の生涯設計ジャーナルNOVEMBER版に掲載されています。がんの専門的なことだけでなく、「がんとは何か」「がんの予防」「早期発見の重要性」から「最新の治療法」まで、わかりやすく解説します。

がん検診企業アクション

生涯のパートナー 第一生命

開催日時: 2010年2月23日(火) 13:30~17:00
 開催場所: 株式会社 電通本社 36階 M会議室
 (東京都港区東新橋1-8-1)
 参加者(予定): 推進パートナー企業 31社



■ プログラム

一部(13:30~14:20)

- 1) 本日の目的の共有
 がん検診企業アクション推進パートナーとしての進むべき方向を探る。
- 2) 各社自己紹介
 推進パートナー企業同士の交流。自社・他社の状況、課題の共有。

二部(14:35~17:00)

- 1) がん検診企業アクション 現状の報告及び質疑応答
- 2) グループディスカッション
 推進パートナー企業が目指すゴールの設定

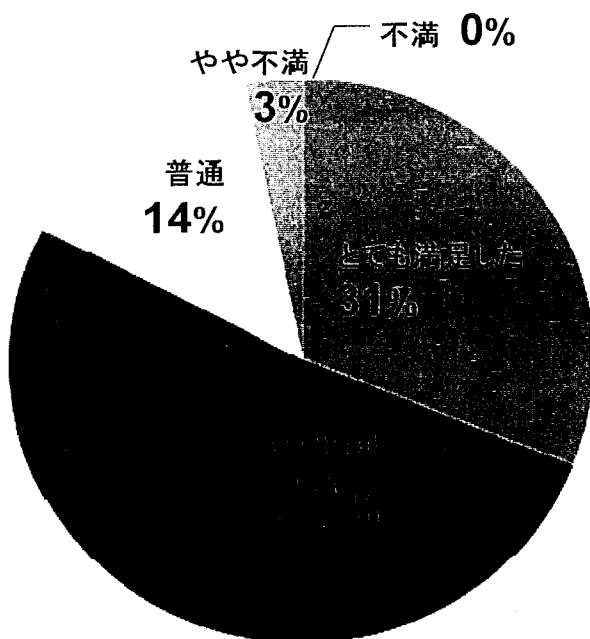
懇親会(17:30~19:00)



31社 61人が参加

推進パートナー会議 アンケート結果

Q. 推進パートナー会議に参加しての感想



参加者の82%が「満足」



- ・ グループディスカッションで、他社の検診の現状を知ることができた。
- ・ 推進パートナー企業と交流・情報交換ができた。
- ・ 混沌としていた本事業の目的・ねらいが見えるようになった。

Q. 推進パートナー同士のネットワークを使って、どのような取り組みをしたいとお考えですか？（複数回答可）

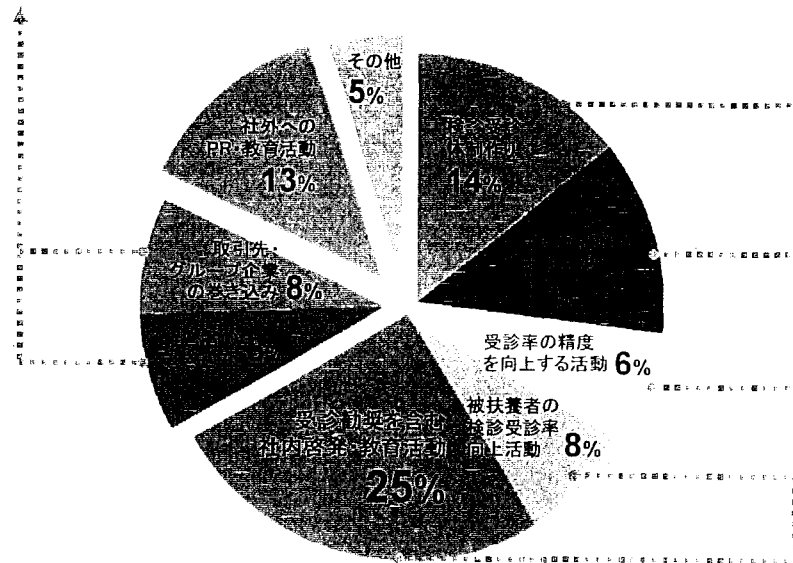
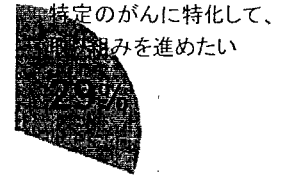
その場合、どんなことですか？（複数回答可）

経営者・取引先・

グループ企業の巻き込み 16%

特定の課題に特化して、
取り組みを進めたい

71%



現状把握と体制づくり 33%

受診勧奨を含む、
従業員・被扶養者への
啓発・啓蒙活動 33%

推進パートナーの本事業への参加意識

ポイント

1

自社の現状を知り目標を定める

まずは自社の検診受診率の算出をしていただき現状を把握する

ポイント

2

従業員・被扶養者のがん検診受診に対する意識を啓発するための情報を学ぶ

推進パートナー企業として参加することで、他企業の取り組みを知り、がんの最新情報を学びたい

ポイント

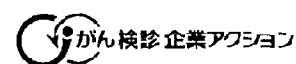
3

がん検診の大切さを広める

従業員・被扶養者・社外に向けてがん検診の重要性を広める

推進パートナー企業団体の 検診受診率・検査項目アンケート集計結果

【参考資料】推進パートナー受診率アンケート集計結果



【がん検診 受診率】アンケート回収数=33社の内、受診率算出可能に11社による平均値
 ※ 下記の受診率は、対象年齢・算出方法など一定ではないため、参考値としてご覧ください。

	従業員	被扶養者
胃がん	62.9%	33.2%
肺がん	87.2%	39.2%
大腸がん	67.8%	32.1%
子宮がん	40.5%	36.4%
乳がん	54.6%	39.9%

【がん検診 検診項目】回収数=33

下記の受診更新項目のデータは、推進パートナー企業様からご回答いただいたデータをまとめたものです(2月19日現在 33社)

	検診内容	企業数
胃がん	問診	5
	胃部エックス線検査	23
	胃内視鏡検査(胃カメラ)	12
	ペプシノゲン検査	3
	ヘリコバクターピロリ菌抗体検査	3
	その他	1
肺がん	問診	4
	胸部エックス線検査	22
	喀痰細胞診	6
	胸部CT検査	4
	その他	2
大腸がん	問診	3
	便潜血検査	19
	一日法	5
	二日法	13
	全大腸内視鏡検査	1
	その他	1

	検診内容	企業数
子宮がん	問診	8
	視診	8
	子宮頸部細胞診	19
	自己採取	4
	医師採取	16
	内診	6
	コルポスコープ検査	0
その他	5	
乳がん	問診	7
	視触診	11
	乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	18
	超音波検査(エコー)	20
	その他	5

がん検診の検査項目と受診間隔(厚生労働省指針)

【概要】

- がん検診については、健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として市町村が実施。
- 厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知)を定め、市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

【内容】

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診及び胃部エックス線検査	40歳以上	年1回
子宮がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診、視診、触診及び乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

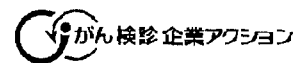
※1 子宮がん検診: 有症状者は、まず医療機関の受診を勧奨。ただし、本人が同意する場合には、子宮頸部の細胞診に引き続き子宮体部の細胞診を実施。

:平成15年度まで、対象者は30歳以上、受診間隔は年1回。

※2 乳がん検診 :平成15年度まで、対象者は50歳以上、受診間隔は年1回。

がん検診企業アクション独自調査

がん検診企業アクション独自調査概要



新年度を迎えて会社員のがん検診に対する意識調査を実施

実は高かった職場でのがん検診ニーズ「受診したい」が97%
「実施している」はわずか22%
意識と実態のギャップが浮き彫りに原因は情報発信不足!?

がん検診企業アクション事務局は2010年3月4日(木)～3月5日(金)、新年度を迎えるにあたり、20～40代の会社員(公務員、団体職員も含む)男女400名を対象に、「がん検診に関する意識調査」を実施しました。

【調査結果の概要】

- 1 会社員のがん検診に対する意識と実際の受診率とのギャップが明らかに
- 2 職場におけるがん検診ニーズは高いが実施率は低調
- 3 がん検診に関する情報が正しく伝わっていない
- 4 社会人ががん健診を受けたきっかけは「職場の健康診断にあったから」